



# 発掘調査

担当 文化財調査員 吉田悠歩

発掘調査は、考古学を代表する調査方法で、遺跡を掘って行う調査のことです。

考古学は、過去の人類の活動の痕跡を調べることで、歴史や過去の文化・社会を研究する学問です。過去の人類の痕跡には、建物などの跡（遺構）や昔の道具など（遺物）があり、遺構や遺物が埋まっている場所を遺跡と言います。発掘調査とは、図面や写真といった様々な記録を取りながら遺跡を掘り、見つかったものや見つかった状況から、かつてそこで行なわれていた人類の活動の復元を目指す調査のことです。

## 1. キーワード

考古学 遺跡 遺構 遺物 整理作業 測量 など

## 2. 調べものの基本

本格的な調べものをするときの基本は、第一に信用できる情報源にあたること、第二にできるだけたくさんの情報源にあたること、第三に見つけた情報源を手掛かりに新たな情報源を探す作業を何度も繰り返すこと、の三つです。

情報源として一番信用できるのは、専門家が書いた本などの印刷物です。その次に博物館や大学など専門機関のホームページが続きます。また、本を読むだけでなく、実際に遺跡や博物館を訪れたりするとより理解が深まります。

ここでは、本の探し方と入手方法、遺跡や博物館の情報の探し方をご紹介します。

### 2-1. 本の探し方

#### ①図書館で探す

- a. キーワードを手掛かりに図書館の検索端末で探す。
- b. 関連する本や事典などが置いてある本棚を実際に見て探す。
- c. 司書の人に相談する（レファレンスサービス・相談カウンターなど）。

#### ②本で探す

- a. 本の探し方について書いてある本やホームページを参考に本を探す。
- b. レファレンスブック（事典・図鑑・便覧・年表・地図帳・書誌目録など）で探す。  
レファレンスブックを読んで、本を探すためのキーワードを見つけます。

### c. 見つけた本を手掛かりに探す

1冊本が見つかったら、その本の作者の名前や本の中に出てきたキーワードを手掛かりに本を探します。読書案内や参考文献が付いている本では、そこに紹介されている本やその作者の名前も参考になります。また本が何冊か見つかってくると、その分野の本を得意とする出版社が分かってくるので、本を探す時の助けになります。

#### ③インターネットで探す

本のデータベースには、国立国会図書館の「国会図書館サーチ」などがあります。また、奈良文化財研究所は「全国文化財総覧」という文化財の総合的なデータベースを公開しています。これらのデータベースにキーワードを入力して本を調べることができます。

## 2-2. 本の入手方法

#### ①所蔵している図書館を調べる

国立国会図書館「国立国会図書館サーチ」・国立情報学研究所「CiNii Books」・(株)カーリル「カーリル」などのサイトで、全国の公共図書館や大学図書館などの蔵書をインターネットから検索することができます。また図書館の検索用端末も活用できます。

#### ②近くの図書館などがない本を手に入れる

図書館に相談すると、連携している他の図書館から蔵書を取り寄せたり、コピーを送ってもらったりすることができる場合があります。また、国立国会図書館では、遠隔複写サービス（インターネットなどから複写を申し込み、複写物を受け取ることができるサービス）や、著作権保護期間の満了した本の公開をホームページで行っています。このほか、書店などで本を購入することや、専門のサイトから論文をダウンロードすることができます。

## 2-3. 遺跡や博物館の情報の探し方

#### ①本で探す

多くの場合、本に紹介されている遺跡や関連する博物館を見に行くことができます。

遺跡が見学できるように整備されていなかったり、博物館に見たい資料が展示されていないことがあります。また、遺跡を掘り返したり汚したりすること、私有地に勝手に立ち入ることなどはしてはいけません。マナーを守って見学しましょう。

#### ②インターネットで探す

博物館や遺跡のある都道府県や市町村のホームページで調べることができます。また、文化庁の「博物館総合サイト」「文化遺産オンライン」や国立文化財機構の「e 国宝」、奈良文化財研究所の「全国文化財総覧」などで各地の博物館や遺跡、資料について知ることができます。このほか観光サイトなども役に立ちます。



**知りたいことが全部1冊の本に  
まとめられているとは限らないよ。  
地道に探そう！**

### 3. 調べものの手掛かりになる本

本の名前 「論文の名前」、『本の名前』（『シリーズ名』）	本の情報 作者、刊行年、出版社など	難しさ	当館 蔵書
『考古学の研究法』	一瀬和夫 2013 学生社	専門家	×
『マンガでわかる考古遺跡発掘ワーク・マニュアル』	今井しょうこ（植田真監修） 2021 創元社	一般	×
『考古実測の技法』（『考古学ライブラリー』26）	江坂輝彌 1984 ニュー・サイエンス社	専門家	×
『考古学選書 42 考古学における層位学入門』	エドワード・ハリス（小沢一雅訳）1995 雄山閣	専門家	×
『ビジュアル版 考古学ガイドブック』	小野昭 2020 新泉社	一般	×
『土器を実測しよう！ はじめて実測を試みるあなたへ 第2弾』	小畑三千代 2013 雄山閣	専門家	×
『講座 考古学と関連科学』	亀田修一・白石純編 2022 雄山閣	専門家	×
『土壌学と考古学』	久馬和剛・長塚鎮男編 1987 博友社	専門家	×
『埋蔵文化財と写真技術』（『考古調査ハンドブック』23）	栗山雅夫 2023 ニューサイエンス社	専門家	×
『必携考古資料の自然科学調査法』（『考古調査ライブラリー』2）	齋藤努 2010 ニューサイエンス社	専門家	×
『【増補改訂版】石器実測法 情報を書く技術』	田中英司 2019 雄山閣	専門家	×
『考古学と自然科学』1～5	1998～2000 同成社	専門家	○
『考古学研究調査ハンドブック』シリーズ	2004～ 同成社	専門家	△
『考古調査ハンドブック1 埋蔵文化財調査の基礎テクニック』	戸田哲也監修 2009 ニューサイエンス社	専門家	×
『考古学の基礎 改訂新版 発掘と整理の知識』	服部敬史 1998 東京美術	一般	×
『考古学のための法律』	久末弥生 2017 日本評論社	専門家	×
『考古学の方法 調査と分析』	藤本強 2000 東京大学出版会	専門家	×
『文化財保護関係法令集』第四次改訂版	文化財保護法研究会 2022 ぎょうせい	一般	△

※蔵書欄の○△は当館図書室所蔵図書（△はシリーズの一部のみや異なる版などを所蔵の場合）。場合によりご利用いただけないことがあります。

本の名前 「論文の名前」、『本の名前』（『シリーズ名』）	本の情報 作者、刊行年、出版社など	難しさ	当館 蔵書
『史跡整備のてびき 保存と活用のために』	文化庁文化財部記念物課編 2005 同成社	専門家	○
『発掘調査のてびき』	文化庁文化財部記念物課監修 2010 同成社	専門家	○
『発掘調査のてびき』 各種遺跡調査編	文化庁文化財部記念物課監修 2013 同成社	専門家	○
『石垣整備のてびき』	文化庁文化財部記念物課監修 2015 同成社	専門家	○
『ジオアーケオロジー 地学にもとづく考古学』	マイケル・R・ウォーターズ（熊井久雄ほか監修 松田順一郎ほか訳）2012 朝倉書店	専門家	×
『環境考古学マニュアル』	松井章編 2003 同成社	専門家	×
『入門 埋蔵文化財と考古学』	水ノ江和同 2020 同成社	専門家	×
『実践 埋蔵文化財と考古学 発掘調査から考える』	水ノ江和同 2021 同成社	専門家	×
『現場のための環境考古学（携帯版）』	山崎健・上中央子 2015 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	専門家	×
『考古学調査研究ハンドブック』1～3巻	1993 雄山閣	専門家	×
『文化財保護の制度と行政』	和田勝彦 2015 同成社	専門家	○

※蔵書欄の○△は当館図書室所蔵図書（△はシリーズの一部のみや異なる版などを所蔵の場合）。場合によりご利用いただけないことがあります。



学芸員おすすめ！パスファインダー（調べ方案内）No. 7  
発掘調査

作 成 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館  
作 成 日 2026年4月2日  
記載された内容は作成日当時のものです。

